児童デイゆめときわ　放課後等デイサービス事業所自己評価表（公表）

公表日：令和　６年　３月　１５日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			活動内容に合わせて机や棚で空間を仕切っている。時間帯や日によって活動スペースと学習スペースを分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			.
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	1	階段には手すりを付け、転落防止の柵を設置している。また、部屋と部屋の間の扉を引き戸にすることで開け閉めの動作がしやすく少ない力で済む様に工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3		申し送りや会議を行い職員が参画をしている。広く職員が参画できるようなやり方（事前に意見を集約しておくなど）を模索して機会を増やしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			保護者の方の意見を真摯に受け止め、業務改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				第三者による外部評価は実施されていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			２カ月に１回リモートで研修会を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		必要に応じて保護者と情報共有を行いニーズや課題を取り入れている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			検査情報だけでなく保護者への聞き取りや日々の記録等も活用しながら総合的にアセスメントしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		集団活動内容はチームで立案し、個別活動は各担当職員が主となって立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		四季によって内容を変えたり、様々な社会経験が出来るように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		課題は決めているが細かい設定にも配慮していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			集団活動が苦手な児童に対しては個別活動を併用しながら集団活動に繋げていける内容を職員間で検討しながら計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			職員間で連絡帳や業務日誌での情報交換も含め支援開始前と終了後に打ち合わせを行っている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	7		1	必要に応じてその日の振り返りを行い、職員間で情報を共有し、共通の認識を持って支援にあたるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			今の支援の状況や今後の課題などを記録や会議を通して正確に共有し改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			会議や職員間で話し合いを開き定期的に見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7	1		ア～エを組み合わせ取り入れるよう努めている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			児童発達支援管理責任者や担当職員が一緒に入って行っている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	2		保護者を介す場合が多いが必要に応じて、学校へ送迎に行った際に担任の先生と情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在、該当する児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				現在、該当する児童はいない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				現在、該当する児童はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	6	今後、助言や研修などの参加を検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	6	交流方法の確認を行い、実施に向けて検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	4	参加はしたが、積極的に参加していけるようにする
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			連絡帳や帰りの送迎等で様子を伝え合い共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか		2	6	外部研修などを通じて充実した支援を実施していく。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		支援の内容をもっと具体的に説明していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		保護者からの相談があった場合は児童発達管理責任者を介して職員間で話し合い統一した助言や支援を行っている。

明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1		今年は全体で保護者会を開催し交流の機会を設定できた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			全職員で情報を共有し、対応にあたる。保護者の方には迅速に説明をしていくことを課題に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎月ゆめ通信を発行して行事報告や活動報告をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	2		利用契約時に個人情報の取り扱いについての同意を保護者から頂いている。外部への漏洩が無いように職員に周知徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		職員全員が出来るように研修や話し合いを行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			8	事業所が市街地にある為、周辺に会社が多い為、招待することが難しい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		1	7	通信などを用いて保護者への周知を今後徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年に2回実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			コロナ渦の為、内部研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				該当児はいないが、同意書を作成しており、必要に応じて保護者の方に説明、同意を得るよう体制は整えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			軽度の食物アレルギーの児童に対しては医師の指示を保護者から受けてその都度、保護者に確認しながら対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			些細なことでも作成をして職員間で共有をしていく。